

## ODBC データソースの実行手順

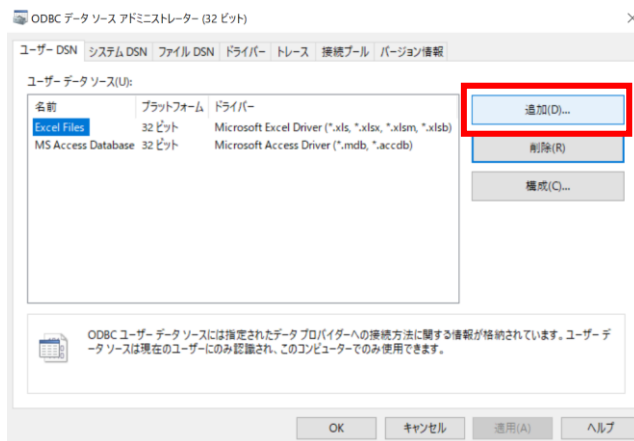
以下のような場合に、本手順書の内容を実施ください。

- ・ 達人がデータベースに接続できず、起動できない場合
- ・ 達人がデータベースに接続できる状態であるかテストしたい場合
- ・ ネットワークライブラリの設定を変更する場合

①[Windows スタート]-[Windows システムツール]-[コントロールパネル]を開き、画面右上の表示方法を“大きいアイコン”もしくは“小さいアイコン”に設定します。

②一覧から[管理ツール]-[ ODBC Data Sources (32-bit)]を開きます。

③以下画面が表示されます。画面右上の“追加”ボタンを押下します。



④「データソースの新規作成」画面にて、“SQLserver”を選択して“完了”ボタンを押下します。



⑤以下画面で内容を入力し、“次へ”で進みます。

名前は「達人接続テスト」、説明は任意です。

サーバー欄で▼を押下し、一覧から達人が接続するサーバー名を選択します。

(※サーバー名が表示されない場合はサーバー名を手入力してください。)

SQL Server に接続するための新規データソースを作成する



⑥表示された画面で、以下のように設定ください。

●ユーザーが入力する SQLserver 用のログイン ID とパスワードを使う

SQLserver に接続して追加の構成オプションの既定設定を取得する

ログイン ID : UNIONsa

パスワード : union7778!

ここまで入力後、“クライアントの設定”ボタンを押下します。

SQL Server に接続するための新規データソースを作成する

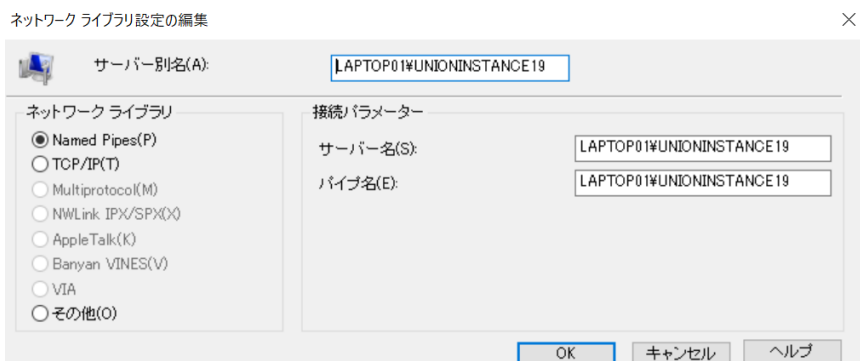


⑦ 「ネットワークライブラリ設定の編集」画面が表示されます。

ネットワークライブラリ欄にて、“Named Pipes”を選択して“OK”を押下します。

(※上記は TCP/IP で接続できない場合の手順です。

Named pipes で接続できない場合は TCP/IP を選択します。)



⑧ 「⑥の画面」に戻る為、そのまま“次へ”で進みます。

★サーバーに接続できない場合は、次の⑨の画面へ進みません。

ここでサーバーに接続できない場合、ネットワークなど環境の調査が必要です

⑨表示された画面で、以下のように設定して“次へ”で進みます。

既定のデータベースを以下のものに変更する

一覧から“ust〇sys”を選択。



⑩表示された画面で、以下のように設定して“完了”を押下します。

- SQLserver のシステムメッセージを以下の言語に変更する  
一覧から“Japanese”を選択。

SQL Server に接続するための新規データソースを作成する



SQL Server のシステム メッセージを以下の言語に変更する(C):  
Japanese

データに強力な暗号を使用する(Y)

文字データを変換する(P)

出力時の通貨、数値、日付、時刻の形式にはシステムの地域設定を使用する(U)

実行時間が長いクエリを以下のログ ファイルに保存する(S):  
C:\Users\MMARUY~1\AppData\Local\Temp\Ql 参照(R)...

保存するクエリの最短所要時間 (ミリ秒)(L): 30000

ODBC ドライバーの統計情報ログを以下のログ ファイルに保存する(O):  
C:\Users\MMARUY~1\AppData\Local\Temp\St 参照(W)...

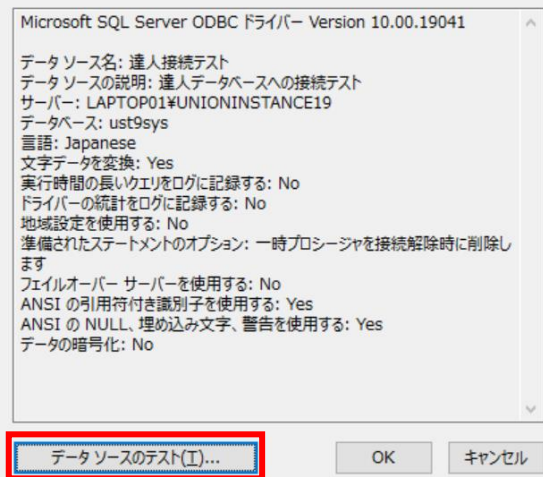
< 戻る(B) **完了** キャンセル ヘルプ

⑪“データソースのテスト”ボタンを押下します。

「テストが無事に完了しました。」の結果が出れば、“OK”を押下します。

ODBC Microsoft SQL Server セットアップ

以下のとおりの設定で、新規の ODBC データ ソースが作成されます:



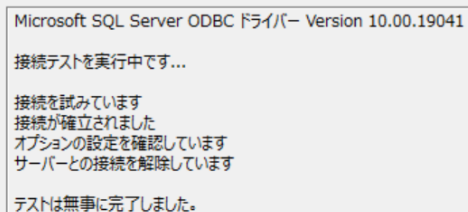
Microsoft SQL Server ODBC ドライバー Version 10.00.19041

データソース名: 達人接続テスト  
データソースの説明: 達人データベースへの接続テスト  
サーバー: LAPTOP01\UNIONINSTANCE19  
データベース: ust9sys  
言語: Japanese  
文字データを変換: Yes  
実行時間の長いクエリをログに記録する: No  
ドライバーの統計をログに記録する: No  
地域設定を使用する: No  
準備されたステートメントのオプション: 一時プロシージャを接続解除時に削除します  
フェイルオーバー サーバーを使用する: No  
ANSI の引用符付き識別子を使用する: Yes  
ANSI の NULL、埋め込み文字、警告を使用する: Yes  
データの暗号化: No

**データソースのテスト(I)...** OK キャンセル

SQL Server ODBC データソース テスト

テスト結果



Microsoft SQL Server ODBC ドライバー Version 10.00.19041

接続テストを実行中です...

接続を試みています  
接続が確立されました  
オプションの設定を確認しています  
サーバーとの接続を解除しています

テストは無事に完了しました。

以上で完了です。

画面を閉じて、達人の起動確認を行ってください。